

科目名	専門総合演習 「子どもと芸術Ⅰ」		担当教員	明 石 現		
			担当形態	単独		
テキスト	特になし。	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 子どもの育みに、芸術が如何に関わり、繋がり行く何かで在り得るかを考察する。その大切な軸として、子どもの無垢な心への発見、敬意を据え、保育と芸術の関わりへの答えを導くための課題を、具体的な芸術という体験の中で見つけ、発見し、その認識を持ち具体的方策を説明する事が出来ることを到達目標とする。</p> <p>■授業の概要 本授業のテーマおよび概要は、子どもの育みへの芸術の関与であり、探求である。「福祉の音プロジェクト」(手話合唱)をはじめ、芸術が子どもの無垢なところを引き出す力があるという視点から始め、音楽、文学、映像等の芸術作品の鑑賞、考察を行い、個々の課題を設定する。</p> <p>■授業計画 第1回 オリエンテーション 授業の方向性の確認 第2回 「子どもの無垢なところ」とは何か ディスカッション 第3回 文学を通して「子ども」を考える① 第4回 文学を通して「子ども」を考える② 第5回 映像作品を通して「子ども」を考える③ 第6回 文学を通して「福祉」を考える① 第7回 文学を通して「福祉」を考える② 第8回 映像作品を通して「福祉」を考える③ 第9回 文学を通して「社会」を考える① 第10回 文学を通して「社会」を考える② 第11回 映像作品を通して「社会」を考える③ 第12回 「福祉の音プロジェクト」①(手話合唱)について 第13回 「福祉の音プロジェクト」② 第14回 「福祉の音プロジェクト」③ 第15回 「福祉の音プロジェクト」④・まとめ</p> <p>■準備学習 ・指示した課題・レポートを期限内に行うこと。 ・事前学習等、円滑なグループワークの準備、自己練習に取り組むこと。</p> <p>■評価方法 ・授業への参加、取り組み姿勢 — 70% ・小レポート作成 — 30%</p>						
参考文献	今西祐行「一つの花」ポプラポケット文庫、ヘレン・ケラー「光の中へ」めるくまーる他		特記事項	特になし。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			